

西小だより 春夏秋冬あっちこち

第10号
平成29年6月22日
桐生市小曾根町1-9
桐生市立西小学校

田植え体験



6月8日木曜日、西地区生涯学習を考える会の皆様とPTA役員さん等の協力により、5年生が田植え体験学習を行いました。西幼稚園のときに体験済みという児童もいますが、ほとんどの児童は初体験。ぬるぬるした田んぼに足をとられる中、束ねられた苗を小分けにし、さらにしっかりと根づくように何本かを一株にして植えていきます。最初のうちは、苗の本数が多すぎたり、少なすぎたり、等間隔に揃わず縦横がばらばらだったり、かなり苦戦していた様子でした。しかし、慣れてくるにしたがって株の大きさも間隔も揃うようになり、きれいな田んぼができあがりました。

農業が機械化される前（と言っても、数十年ほど前でしかありませんが）は、どこでも、こうして手で植えていました。暑い日差しの照りつける田んぼで、腰をかかめて一株一株植えるのは、相当な重労働だったことを学べたことと思います。わずかな時間とちょっとの体験でしたが、昔のお百姓さんの気持ちになれたでしょうか。お米に限らず、食べ物を粗末にしない。無駄にしない。「いただきます」を言うとき、この日の体験を思い出してほしいと思います。

ご協力いただいた、多くの皆様に感謝申し上げますとともに、この先、稲刈りまで管理をしていただく杉戸様には、大変ご苦勞をおかけいたします。秋の収穫、そして、もちつきを楽しみにしております。よろしくお願いいたします。



桐生の祭りについて

3年生の社会科は、「自分たちが暮らしているまち」についての学習が中心となります。本校には、郷土資料室が併設されていることもあり、毎年、桐生の祭りについて、大里先生に導入の話をさせていただき、その後、関係者から説明を聞いたり、実際に現地に行って調べたりという学習を行っています。

この日(6/8)は、商工会議所の方からお話を伺いました。「昔は、新川公園に大やぐらが立っていたこともあったんだよ」そうです。確かに立っていました。でも、それって10数年前だったような気も……。昔なんですね。[十年はひと昔 暑い夏(井上陽水「夏まつり」より)]



外国語活動

この春、告示された新指導要領では、3・4年は、外国語活動を年間35時間(週1時間)、5・6年は、英語を年間70時間(週2時間)履修することとされています。来年・再来年は移行期間とし、平成32年度から全面実施となります。これに伴い、小学校英語の推進役として、群馬県では、今年度から英語教育アドバイザー教員を配置しています。桐生市にも1名が配置され、市内各校をまわり、授業づくりへの指導助言、教員のサポート等の任に当たっています。

本校へは、6月20日に来校し、5・6年の授業を学級担任と一緒にに行いました。右は、そのときの約束事です。みんなで一緒に、恥ずかしがらずに、楽しく取り組むことが上達の秘訣のようですね。

外国語活どうのやくそく

- ・友だちと助け合おう
- ・まちがえてもわらわない
- ・えがお
- ・大きな声で言ってみよう
- ・あい手を見て話そう



ふれあい遠足

6/13(火)

この日は雲行きが怪しく、実施できるかどうか、朝から空とにらめっこ状態。ネットで調べると、午前中、早い時間帯なら曇りの予報。運動の時間は、ほんの少しばらつく程度で、少し空が明るくなっている様子も見えました。そこで、予定を変更し、お弁当は学校で食べることにして、時間を繰り上げて出かけようと、校庭に出た途端に雨が・・・。

意気揚々から一転、意気消沈へ。でも、4時間目は、6年生がリードして各教室で、思い思いに遊び、お昼も一緒に食べました。「ふれあい遠足」が「ふれあいランチ」になりましたが、それなりに絆が深まった様子でした。梅雨ですから、こんなこともあります。雨もまたよし。今日もいい天気。



床に車座になったり、机を大きな円にしたり、会話をしながら楽しそうに食べていました。